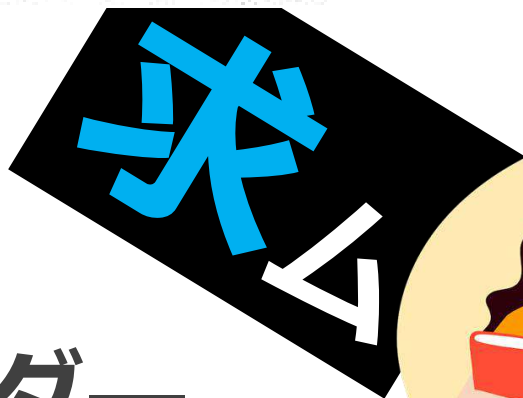




地域・教育魅力化
プラットフォーム
Platform for Sustainable Education and Community

越えて、行こう。
地域みらい留学



地域みらい留学 高校生アンバサダー

～オンライン広報部 生徒募集のご案内～



- ①高校生アンバサダー・オンライン広報部とは
- ②想定される活動内容
- ③この活動がもたらすメリット
- ④応募条件・応募方法

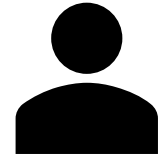
高校生アンバサダー・オンライン広報部とは

留学検討者アンケートより



留学を検討するときに、実際の生徒の体験談や生徒目線の発信はとても参考にしているし、重要な判断材料になる

留学を検討しているときに、各学校のHPやSNSは必ず見るようにしていた



- ✓ 現状事務局では、年間に数件の生徒インタビューを実施している
- ✓ 公式SNSはCPFが島根から運営している以上、生徒目線の投稿をすることに一定限界がある

全国にいる地域みらい留学生の中から、“広報・PR”に関心のあ
る生徒を高校生アンバサダーとして認定させて頂き、オンライン
部活動として一緒に地域みらい留学の発信をして頂きたい！

目的

- 生徒目線の発信を増やし、地域みらい留学の認知拡大を行い、より身近に感じて頂く
- 「留学することでどんな日常を得られるのか」を知って頂き、留学を決断する後押しにしていく

高校生アンバサダーとは

- 地域みらい留学の魅力を発信してもらうため、高校生を公式な「代表」や「宣伝役」として任命するもの

オンライン広報部

- 地域みらい留学のメンバーがオンライン顧問として担当し、部活動として展開をさせて頂くことで、年間をかけて計画的に活動をしていく



想定される活動内容

月1回のオンライン研修兼活動MTG（放課後～夜の活動）

- ✓ 月に1回、「前月の活動をGood & Moreで振り返り」「好事例共有会」「次月のアクション設定」を中心にコーチング形式でのMTGを実施
- ✓ 適宜、マーケティング領域や広報PR領域に知見のある有識者に登壇をして頂き、生徒のスキルアップにも繋がる場とする（元SmartNews山口、元inter-edu.com小谷など）

大学生or若手職員メンターを配置（予定）

- ✓ 将来的には、CPF職員（大人目線）が入りすぎない状態で自走していく部活動になることを理想としており、メンターの配置をし、高校生の活動を支援

中間報告会と年度末報告会の実施

- ✓ 半期ごとに報告会を実施し、これまでの活動を定量的にしっかり分析し、大人に報告しFBを受ける機会を設定していくことで、生徒の言語化能力や分析力の向上、視野も広がりに期待がかかる



これらの活動で得たことを、所属する高校にも持ち帰り
学校のPR活動にも生かしてくれることに期待がかかる



公式Tiktokの運用

CPFにて地域みらい留学のTiktokアカウントを開設し、広報部のメンバーで「地域で学ぶことの楽しさのPR」を目的に運用・更新していく
※ルール策定はCPFで実施



アンバサダーアカウント 作成・運用

広報部メンバー各個人で、地域みらい留学用アカウントの開設し、「地域みらい留学生の日常を知って頂く」ことを目的に、各個人が運用していきます。
専務理事・尾田が実施している「ラジオで地域みらい留学」にも出演していただく



その他SNS運用サポート メディア露出など

記事ライティング・動画編集など、広報部メンバー各個人の興味に応じて、SNS運用のサポートを割り当てる可能性があります。また、各種メディア露出について協力依頼をさせて頂く

1. 動画投稿手順

- ① 動画の仕様沿って動画を制作する（生徒）
- ② 登校前のチェック項目に沿って動画をチェック（生徒）
- ③ 投稿（生徒）
- ④ LINEオープンチャット or Slackで、投稿した旨を報告（生徒）
- ⑤ 報告後事務局内でチェックを実施し、公式アカウントからの投稿として不適切と判断したコンテンツについては削除（事務局）

2. 動画の仕様

- 縦横比
 - 16:9の縦動画
- 尺
 - 特に定めなし(TikTokに投稿できる尺の範囲で) ただし、15秒程度までしか閲覧されない可能性が高いことを考慮しながら制作することを推奨
- BGM
 - 著作権法に引っかからないものを使用すること。(TikTokが公式に提供している楽曲を使用すると安全)

3. 投稿前のチェック項目

- 動画に映っている人の撮影・投稿許可を得たか
- 学校名に誤りがないか
- 地名に誤りがないか
- 個人名に誤りがないか
- キャプションに誤字脱字がないか
- 誰かを傷つけたり、非難する表現が含まれていないか

この活動がもたらすメリット

参加する生徒

- ✓ マーケや広報領域の実践経験ができ、社会に出ても使えるマインドとスキルを得ることができる
- ✓ 目的とスケジュールにもとづいた、タスク管理をしていくスキルが身に付く
- ✓ 自分本位の発言・発信ではなく、受け手の立場に立って物事を捉える視野が身に付く
- ✓ 大学入試で年内入試を受験する生徒の場合は、活動実績にも記載ができる可能性

送り出す学校

- ✓ アンバサダーの活動の中で、所属高校名の露出が増えることになり、自校の道府県外生募集のPRにも繋がっていく
- ✓ 他校の生徒との活動をする中で、所属高校だけでは得られなかった知識や視点を参加生徒が得られる。これを所属高校に持ち込むことで、クラス内等で刺激が起き、新しい活動の種になる可能性がある

応募条件・応募方法

• 応募条件

1. 【必須】広報・PRに関心があり、やむを得ない場合を除いて活動を継続できること
 2. 【必須】所属高校の先生から承諾を得られること
 3. 【必須】名前・顔が外部にオープンになることを本人が承諾できること
 4. 【必須】3のことを保護者から承諾を得られること
- ※ 推奨学年を現1年生（新2年生）とさせていただきます（マストではありません）

• 応募の流れ

3~4月

- 【推奨】説明会に参加（3月27日or28日）
- 【必須】上記説明会を聞いて「やりたい」と思ったら参加希望フォームを本人が送信
- 【必須】上記フォームに「学校及び保護者からの承諾書」を添付すること

4~5月

- CPFにて審査（希望者数次第で選抜する場合があります）
- 【必須】キックオフミーティング実施



オンライン広報部 参加申込フォーム



説明会 参加申込フォーム